

第5回いいだ未来デザイン会議 会議録

開会に際して

【企画課長】

前回の若者との意見交換に参加いただいた、飯田コアカレッジの三浦さんに本日もお越しいただいている。自分たちの意見が、どのように計画に反映されていくか関心があるということで、オブザーバーとしての参加について委員の皆様のご了承をお願いしたい。

1 開会

【三浦委員長】

第5回いいだ未来デザイン会議を開催させていただく。なお、本日の会議は、ウェブ会議も併用して実施する。

4月12日の第1回目、4月30日の第2回目で、後期計画に定める基本目標や施策を検討する際に考慮すべき視点をグループ別の意見交換という形で協議を行ってきた。第3回目の5月16日には、事務局で私達の意見交換等をたたき台としてまとめたものが提示され、それについて議論いただいた。5月26日には、第4回目ということで、学生や生徒といった若い皆さんたちの意見交換の席を設けさせていただき、私達委員も参加した。会議においては、専門委員の皆様にファシリテーターをしていただき、市民委員には一緒に参加していただいて、若い世代の皆さんの意見に耳を傾けさせていただいた。私も飯田短期大学の学生と話をする中では、参加するまではとても緊張をしていたけれど、自分の意見を言い、ほかの人たちの意見を聞く経験が楽しかったと聞いている。私も楽しく有意義な時間であったと感じた。

本日は、第4回の意見交換を踏まえ、いいだ未来デザイン2028後期計画の素案についてのイメージについて皆様から意見をいただきたい。市からは、具体的な取組や事業を見定めながら、政策実施の方向性となる基本目標を定めていく際の参考となる意見が求められている。どのような方向に進んでいくかのイメージを皆様に意見を出していただき、共有していきたい。これまでと同じように、具体的で建設的な意見をいただくようお願いする。

2 議事

(1) 第3回いいだ未来デザイン会議及び若年層との意見交換の振り返り

【企画課長説明】

【三浦委員長】

第3回いいだ未来デザイン会議の振り返り、学生や高校生との意見交換のまとめについて事務局から報告があった。若者との意見交換について、出席できなかった委員の方もいるため、ぜひ出席いただいた委員の方から、感想等の意見をいただければと思う。

【荒井委員】

「ここで育って良かった」という意見が出たグループに参加した。その中で、実際に飯田で育って良かったかどうかを聞いてみたところ、「すごくそう思う」という回答が返ってきた。より良くまちをしていこうと考えたときに、欠けている、不足している面に注目しがちだったが、現状でいいなと思えるところを改めて言語化することは大切なことだと思った。

【石神委員】

いろいろと勉強させていただいたという感じだった。若い方の感性から出る言葉は意外と面白く、エンジョイという言葉、また、その中身がギャル神輿、神輿バイトなど聞いたことのない言葉が多く出た。要するに、もっと楽しもうという思いがあることが分かった。

寺子屋という言葉も出てきて、この地域にはこういった言葉が残っているのだと感じた。また、自分自身で自由に表現できたら良いという話も出て、若い方の感性に勉強させていただいた。

【竹内委員】

ほとんど学生、生徒に引っ張っていただいたというのが正直なところだった。学生、生徒たちの自由な意見に、こちらが気付かされるようなことがあった。「主体的なこども環境」という、自分たちで考えた政策を反映してほしいという意見が出てきたときに、学生、生徒がそういうことを考えてくれているのだと思った。私達が議論しているだけでは絶対に出てこない意見を聞けたことは、私自身勉強になった。

もう一点、「都会化しない」という言葉が出てきた。飯田らしさを大事にしたいと学生、生徒も考えていて、私達の意見でも飯田らしさを出していくというのがあったと思うが、そういった共通する部分もあり、ぜひ大事にしていきたいと思った。

【オブザーバー 三浦さん】

若年層との意見交換の場で初めて参加した。この企画自体が面白く、自分の意見を言えることも良かったが、自分と同年代の人が飯田についてどう思い、どう良くしていきたいかを知る機会はとても貴重だったと思う。ぜひまた参加したい。

こどもが主体的に、こども自身で学べる環境整備や新しいことをやろうって思える環境を作りたいという意見が、参加した学生、生徒から出てきたということがすごいと思う。また、そういう学生や生徒が飯田にすることがすごいことだと思う。そういう方の能力が発揮できるような場所が広がっていくと良いと感じる。

【中田委員】

私もほかの委員と同様に、勉強させていただいたという感想を持った。若い人たちからは、不満ばかりが出るのではないかと考えていたが、とても前向きで、飯田の良いところ、伝統産業、農業があることなどの現状をよく理解していて、それらを生かしつつも、飯田での仕事や勉強する場がないという意見が多く出ていた。すぐに何かできるわけではないが、そういった意欲を聞くと何か応えてあげたいという気持ちになった。こういう場は、私たちだけでなく市民の皆さんに還元していく、伝えていけると良いなと思う。

【福澤委員】

若者の皆さんが、市政への参画意識が強いことに驚いた。私が参加したグループの子からも、また参加したいという声が聞かれた。素晴らしいことだと感じる。賑わいや楽しいところがもっと欲しいとした若者らしい意見をもらいつつも、学びの場、学校の間など進学するにつれて選択肢が狭まってくることへの彼らなりの危機意識を持っているようにも感じた。そういったところの受け皿がないことが将来への不安感につながっているという話もあった。市内の道路事情を含めた安全性の確立や担保についても話があり、真剣に参加し意見を出してもらった。

(2) いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)について
—まちづくりの方向性等について

【企画課長説明】

【福岡委員】

前回会議の中で、4つの「つ」から始まる言葉は私もいいなと思った。「つなぐ」と「つながる」がかぶっているように感じる。例えば、「つながる」を「つどう」にして、言葉は変えずに「人と人がつながり、誰もががつどい、活躍できる助け合いの視点」とした方が差別化できると思う。

【石神委員】

今の意見はとても良いと思う。分かりやすさ、覚えやすさ、飯田らしさをずっと議論してきた。全部3文字にすると確かに分かりやすい。「つながる」と「つなぐ」は言葉が似ている。「つなぐ」は積極的な感じ、「つながる」は自然な感じがする。「つどう」はおもしろい。計画は、分かりやすさ、覚えやすさ、アピールしやすさがないとすぐに忘れられてしまう。その中にも歴史、哲学がある。歴史は、今ある人の心に響く。哲学は、これからの人の大きな指針になる。そういうことが全部入っていると素晴らしいと思うが、全部入っていきそうな感じがする。

【菱田委員】

「つながる」の中には、防災などの目的を持ってつながるという、未来に向かってもう一歩進めるという意味も含まれてくると思うと福岡委員の意見はとても良いと思う。

【三浦委員】

「つどう」はとても良い意見だと思う。その際に、「つむぐ」と「つどう」の下欄のところを差別化する必要がある。「つむぐ」のところを分かりやすくできると良い。「誰一人取り残さず、共に暮らしていく社会をつむぐ視点」だと、「つどう」とニュアンスが似てきてしまうのではないかと思う。

【福澤委員】

事務局の皆さんが上手に網羅した形で作成してくださったと思う。「つながる」はほかの「つ」が他動詞の中、唯一自動詞となっていて、ほか3つが他動詞で意思をもってやっていくものになっている。そういう視点からすると「つながる」は「つなぐ」との差別化が難しいことも含めて、変えていた方が良いと思う。ただし、「つむぐ」での意見のように、一語変えると現在うまく収まっている言葉の整理が難しい部分もある。「つながり」を変える視点で改めて考え直してもらったほうが良いのではないかと思う。ちなみに、「つ」から始まる動詞をChatGPTに聞いてみたところ、「続ける」「伝える」「培う」などが出てきた。「つどう」もとても良いと思う。どの言葉だと収まりが良く、想起しやすいか改めて検討した方が良い。

【永井委員】

前回の若い人たちとのやり取りの中で、非常に移動に困っていることが分かった。今日はここにいらっしゃる皆さんは、自身の車などで簡単に来られる。高校生などの若い人たちは、バスか電車しかなく、非常に使い勝手が悪い。お年寄りで運転をしない方も同じだと思う。そのときに、「つどう」のところで救ってあげなければいけないし、大事にしなければいけないことに気付かされた。移動、交通についても心を寄せる必要がある。

【荒井委員】

第3回のときにいただいた方向性のイメージと比べてみると、「つむぐ」において「共に暮らす安心」という言葉を修正されたのだと思う。「つむぐ」という言葉から安心という印象はあまり感じない。箇条書きのところには、主体的な子供環境、自由に表現したいなど、「つくる」に近いものもある。もともとは基本的な生活を担保するといったような意味合いが強かったと思う。前回のもので改めて考えてみるのも良いのではないかと思う。同じものをまとめ直したという意味では、伝えたいものが変わってきている。

【石神委員】

飯田の市民に響くことが一番大事。飯田の特徴は、いろいろな意見があるかもしれないが、例えば菱田春草の朦朧体、岸田國士の静かなる町など柔らかい感じ、きっちりとせずにふわっとした感じがある。飯田の人の感性に響く言葉を選んだ方が良い。改めて考えてみると、先駆的な感じがする。世界や国は孤立化の方向に進んでいる。それに対して、「つながり」、「結合」を目指す地域というのは、現在に対するアンチテーゼを示していて、飯田の強いメッセージになっている。

【今井委員】

飯田らしさを一言で表すとなにか。それを共有できる中身になっているかがこれからのポイントになってくるのだと思う。ビジュアル的にはすごくデザイン性があるが、血が通って熱量をもって答えられるところに持っていく。グルーヴ感を出すなど、シンプルな言葉でエッジが効いているような表現にできると良い。例えば、「結魂のまち」や「結精神のまち」など、誰かが言い切る。なぜならと答えられるものをどんどん発信していく。グルーヴのような言葉を決めて、その後の下にくる4つの「つ」は説明として成り立つ。ムトスの精神は、意味は分かるがロジカル過ぎる。グルーヴとしては伝わってこない。一言強いワードで、結精神の町だと誰かが言い切って、それに誰かが呼応していく。強烈なインパクトがあると良い。それさえあれば、戦略の考え方は精神で行動につながってくる話であるため、全部つながってくると思う。

【河野委員】

飯田の人の特徴は、すごく人間関係が濃い。人と集まることが多く、ざっくりと言えば飲み会が多い。そうすると、その「結い」はそういうことなのかなと考えるのですが、こういう話は禅問答のようで何が何だか分からなくなってしまう。「つながる」という言葉に関しては、「つどう」でも良いと思うが、人と人が「つながる」と書いてあると、「つながる」と「つどう」は違うと思う。「つどう」にするのであれば、文中の「つながる」という表現も「つどう」に統一した方が分かりやすいのだろうと思う。また、「つむぐ」という言葉が分からない。「社会をつむぐ」とは“つなぐ”ということなのか“つくる”ということなのか。“つくる”という意味だとすると「つくる」と一緒になってしまうし、分かりやすい言葉にした方がいいと思う。

【中田委員】

確かに「社会をつむぐ」という言葉は分かりにくい。安全や安心という言葉を表すには「つむぐ」ではないのだろうと思う。ただ、私としては、この4つの「つ」の中で一番「つむぐ」という言葉が好きで、繭から糸を紡いでいくこの言葉は、もともと養蚕が盛んだったこの飯田だから出てきた言葉だと思う。あえてこの言葉が入っていることが、分かりにくかったとしても飯田らしさだと思う。なので、残したいという思いがある。

【石神委員】

「社会をつむぐ」となっていると分かりにくいのかもしれない。「暮らしをつむぐ」とすれば、暮らしを楽しみながら積み上げていくイメージになる。「つくる」とは違って、複合的につくっていくこと。

【三浦委員】

一番「つむぐ」が飯田らしさを表現していると思う。ただ、「社会をつむぐ視点」だと、「つどう」としたときに似てきてしまっていて分かりにくい。ここのところ変えた方が良いと思う。飯田市は今まで「つむいできた」ので、「つむぐ」という言葉は残したい。優しく答えるときにこの文章はちょっと難しいかなと思う。

【石神委員】

飯田らしさということで、「つどう」がリニアと関係してくるのではないかなと思う。将来的に世界の人が集ってきて、学びの中心になるなど可能性を秘めた言葉なのかなと思う。飯田の中だけでなく、外の話もこの「つどう」に含まれてくるのではないかな。「つどう」にはいろいろな読み方ができておもしろいと思った。

【三浦委員長】

「結魂のまち」といった力強い心に響く言葉を置き、この“田”の4つに場所に、「つなぐ」、「つくる」、「つむぐ」、「つどう」の4つの「つ」を置いてはどうかという話であったかと思う。まちをつくるといった時のイメージが視覚的にも意味合い的にも表現できる、共有することができるでしょうか。

今回の出していただいた「つどう」という言葉は、リニアが開通したときに外からも「つどう」ということ、また、若い人たちがいろいろなところで交通の便が悪くて「つどえない」という現状があるからこそ、そういったところからも「つどう」ことはとても大切だという話をいただいた。

「つながる」という言葉を「つどう」に、そして、「社会をつむぐ」を「暮らしをつむぐ」に変えさせていただく。そして、メインとなる「ムトスの精神、結魂のまち」というような力強く心に刺さるような言葉でまとめるとする意見を事務局にお返ししたいと思います。

【オブザーバー 三浦さん】

今日初めて図を見たが、飯田らしさがとても伝わってくる。具体的な話も分かりやすく、とても良いと思う。「つながる」を「つどう」に変えることもだが、ぱっと見ただけで飯田がどういうところなのか分かることにつながっていくと思う。

「つむぐ」という言葉を個人的にはあまり聞いたことがない。思いを紡ぐという表現は聞いたことがある。何をつむぐかが分かりやすくなれば、より伝わるのだと思う。

(2) いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)について
—基本目標及び戦略のアイデア出し

個別にワークシートを作成し、数名のグループで共有

※ この会議録とは別に一覧表をまとめるが、アイデア出しという位置づけであり、一覧表を共有するに留めることとします。

地域の資源を生かし・守り、 次世代につなぐ視点

- ・持続可能な自治会・公民館活動
- ・若者からお祭りやイベントを盛り上げる
- ・今ある自然（資源）を生かし・残す
- ・エネルギー・水・食料の地産地消
- ・地形、自然、資源を探し、よく知り、使う

地域のコミュニケーション / 地に足のついた（都会化しない） / 地域を広げる / 若者が集まれる / 若者がお祭りを盛り上げる / 学生が案内する観光ツアー / こどもやまごの未来を考えるまち / 飯田市の発展と自然のバランス / 再生可能エネルギー / 多様な果物 / りんごの産地であり続ける / ゼロカーボン / 森林資源の利活用 / 自然に癒される / 都会にない自然 / 手つかずの自然 / 水源地の確保 / 地産地消 / 自分たちで食べられる / 地域の魅力発信 / 地域を知り、探し、活かす / 今ある良さを最大限生かす / 地域の財産の活用 / 特産品伝統文化の継承 / 祭りの伝承 / 文化（伝統文化） / 食文化 / 歴史 / 学生の活躍 / 飯田の自然を生かす / 焼き肉 / 天竜川散歩 / 登山ができる / 里山の魅力がある / 涼める場所がある / 山を使ってキャンプ場 / お店など消費する場所が近いことで移動のCO2削減につながる / 二拠点居住 / 関わる人を増やす

誰一人取り残さず、 共に暮らしていく 社会をつむぐ視点

- ・受動的かつ主体的なこども環境
- ・子どもを産み育てたくなる
- ・飯田らしい教育
- ・好きに・自由に表現したい
- ・選択の幅を狭めない

子どもも大人も / こどもから高齢者まで / ダイバーシティ / 女性も / 障がいのある人も / 外国籍の人も / デジタル / 保育園 / 子育て支援 / 子育て支援の充実 / 子育てがしやすい / 子どもの声が聞こえるまち / 子どもが思い切り遊べる / 子どもが安心して外で遊べる / 楽しい場所が多い / 魅力ある学校 / 教育の充実 / 教育レベルの向上 / 人材育成 / 移動手段がたくさんある / 学生が遊べる場所 / 娯楽施設の充実 / 学校が多い / リターン者が多い / 進学先が充実 / 子どもの成長を妨げない / 公園や学校に優しい / 商業施設が多い / イベントを増やす / 学べる場所を増やす

持続可能な社会を創造 するための視点

結いの田 “飯田”



誰もが豊かさも、働きがいも 感じられる、発展し続ける 地域を創造(つくる)視点

- ・経済の循環、お金の回りが生まれる
- ・やりたい仕事がある、つくる
- ・安心して暮らし働ける
- ・新たな発想で変わる、変える
- ・集約化を意識したインフラ構築

エネルギー産業 / 起業 / 人的投資 / 省人化 / デジタル化 / IT化 / 観光 / 儲かる農業 / 仕事 / 交流 / 学び / やりがい / 自信が持てるモノづくり / 空き家・空き店舗の活用 / アフター5 / オン・オフで自分の時間が充実 / 地元の産業・企業 / ジビエ / 多様な果物 / 地域ブランド / 地産地消 / 子育て休暇 / いきいきと働き安心して生活ができる / まちの集約 / 土地・農地のメリハリ / お店が多い / 目指している職業の給料があまり高くない / 経済を支える労働人口が多い / いろんな職業を増やす / 伝統産業の発展 / 消費する場所が近くにある / 地域産業の発展 / 二地域居住をして自然の中で働く / 職業・就職先が広がる / 最低賃金を上げる / 公共交通の充実

人と人がつながり、誰もが 参加し、活躍できる、 助け合いの視点

- ・若者が地域とつながる・活躍する
- ・高齢者の活力あふれる
- ・医療・福祉のサポート
- ・助け合いができる
- ・安心・安全な生活基盤

社会福祉の充実 / 医療 / 災害に強い / 安全(防災) / 安全・安心な生活基盤 / 助け合える / いきいきと働き安心して生活ができる / 帰ってきたくるまち / 医療・福祉サービスが充実 / 安心して老後まで暮らせる / 挨拶、笑顔での関わりを忘れない / 頼れる人がある / 安心 / 安全 / 安全 / 災害への対策 / 災害から守る / 人のかかわりが欲しい / 若者の活躍できる機会の創出 / 高齢者が暮らしやすい / IT・デジタルで助ける

基本目標
策定の
共通視点
(案)

基本的な
考え方(案)

① 4つの視点のバランス ② 関係する課題の同時解決 ③ デジタル技術などを活用した社会変革

計画期間
(案)

2025(令和7)年度から2028(令和10)年度までの4カ年 9

いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)

－ 持続可能な社会を創造するための視点 －

都市と自然の共存

今ある自然（資源）を生かし・残す

今あるものをのばして都会と
差別化をはかる

飯田らしさを残しつつ魅力を増す

自然が活かされたまち

きれいな自然を残す

参加者を増やす

若者からお祭りやイベントを盛り上げる

Enjoy City Iida

持続可能な自治会・公民館活動

一人一人が「より良く」を考える

お互いに知り合う

「結い」が広がる地域

耕された田畑が続く風景

北限南限の恵みの享受

守りつつも未来へ攻める

再生可能エネルギーで孫と暮らす

エネルギー・水・食料の地消地産

地形、自然、資源を探し、よく知
り、使う

地域の味が守られる里山文化

みんなが織りなす祭りや文化

粋な暮らし

信州の南の玄関口として日本中から愛される飯田

つなぐ

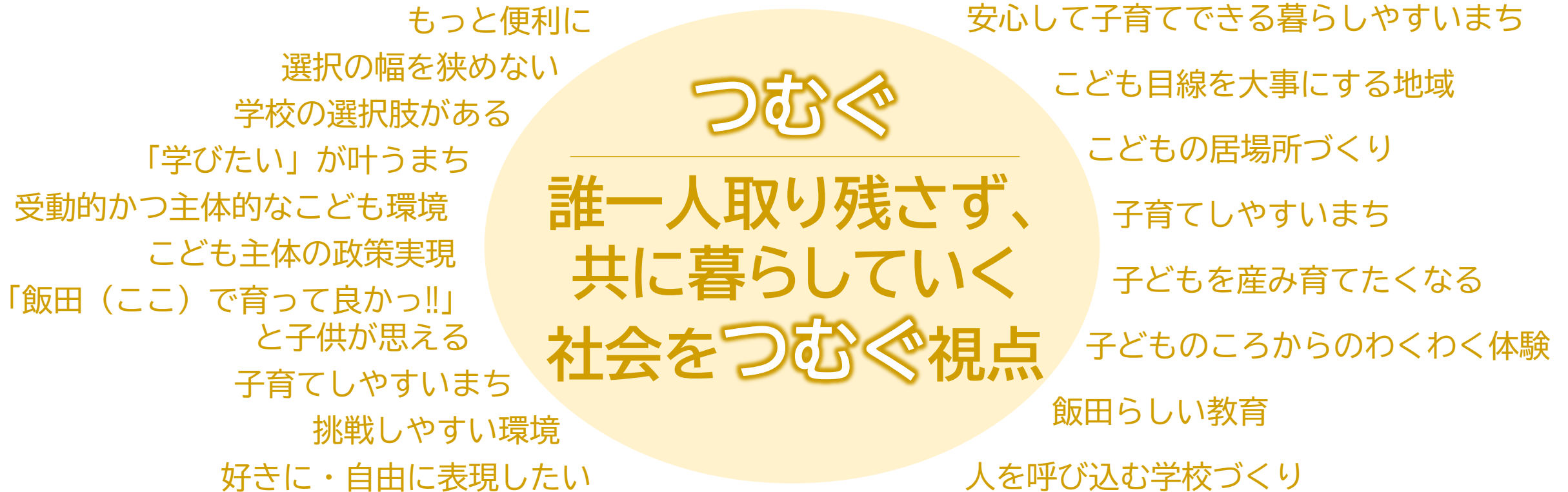
地域の資源を
生かし・守り、次世代に
つなぐ視点

飯田市の発展と自然のバランス / 憩いの場 / 自然に癒される / 都会にない自然 / 今ある良さを最大限生かす / 環境にやさしい / 飯田の自然を生かす / 焼き肉 / 天竜川散歩 / 登山ができる / 里山の魅力がある / 涼める場所がある / 山を使ってキャンプ場 / お店など消費する場所が近いことで移動のCO2削減につながる / 若者が集まれる / 若者がお祭りを盛り上げる / 学生が案内する観光ツアー

地域のコミュニケーション / 地に足のついた（都会化しない） / 町村連携強化 / 地域を広げる / こどもやまごの未来を考えるまち / 再生可能エネルギー / クリーンエネルギー / 多様な果物 / りんごの産地であり続ける / ゼロカーボン / 木材の活用 / 森林資源の利活用 / きれいな自然を守る / 手つかずの自然 / 水源地の確保 / 地産地消 / 自分たちで食べられる / 地域の魅力発信 / また来たくなるまち / 地域を知り、探し、活かす / 地域の財産の活用 / 特産品伝統文化の継承 / 祭りの伝承 / 文化（伝統文化） / 食文化 / 歴史 / 学生の活躍 / 二拠点居住 / 関わる人を増やす

いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)

－ 持続可能な社会を創造するための視点 －

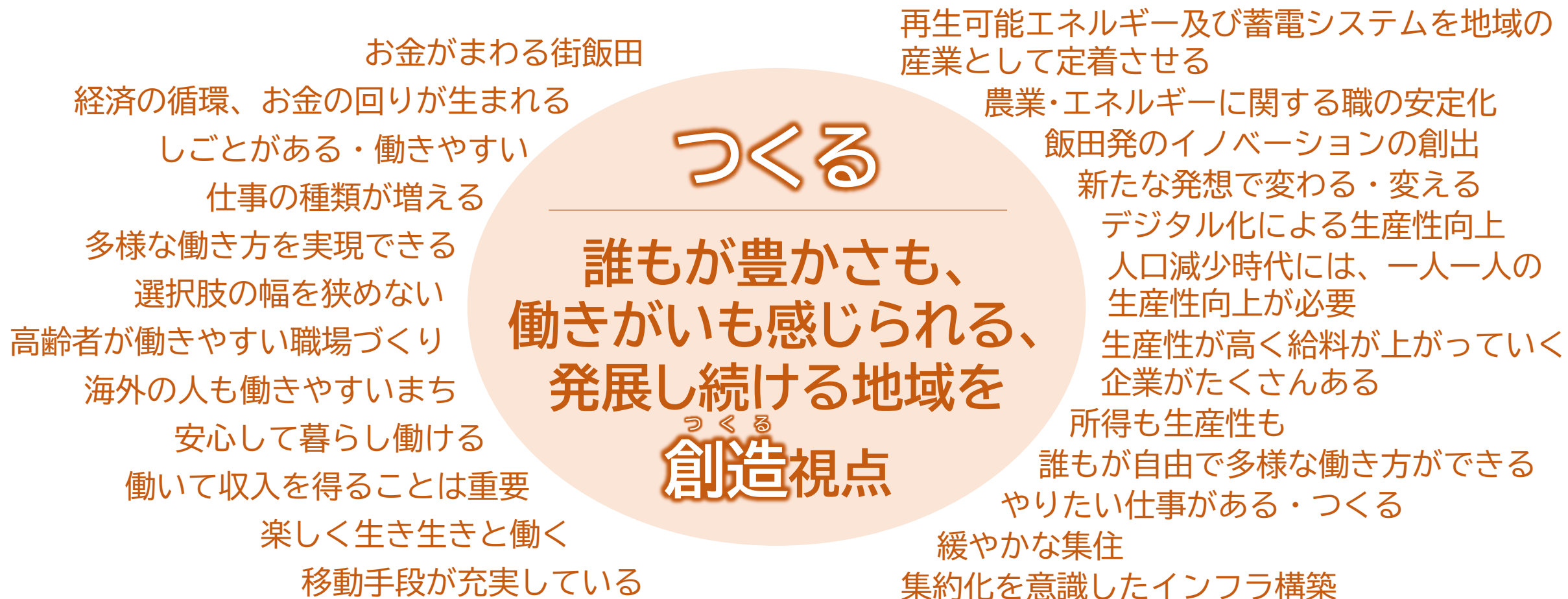


子どもが思い切り遊べる / 子どもが安心して外で遊べる / 楽しい場所が多い / 移動手段がたくさんある / 学生が遊べる場所 / 娯楽施設の充実 / 学校が多い / リターン者が多い / 進学先が充実 / 子どもの成長を妨げない / 公園や学校に通いやすい / 子育てがしやすい / 商業施設が多い / イベントを増やす / 学べる場所を増やす

魅力ある学校 / 教育の充実 / 教育レベルの向上 / 人材育成 / 子どもも大人も / こどもから高齢者まで / ダイバーシティ / 女性も / 障がいのある人も / 外国籍の人も / デジタル / 保育園 / 子育て休暇 / 子育て支援の充実 / 子どもの声が聞こえるまち

いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)

－ 持続可能な社会を創造するための視点 －



お店が多い / 目指している職業の給料があまり高くない / 経済を支える労働人口が多い / いろんな職業を増やす / 伝統産業の発展 / 消費する場所 / 消費する場所が近くにある / 地域産業の発展 / 二地域居住をして自然の中で働く / 職業・就職先が広がる / 最低賃金を上げる / 公共交通の充実

エネルギー産業 / 起業 / 人的投資 / 省人化 / IT化 / 観光 / 儲かる農業 / 仕事 / 交流 / 学び / やりがい / 自信が持てるモノづくり / 空き家・空き店舗の活用 / アフター5 / オン・オフで自分の時間が充実 / 地元の産業・企業 / ジビエ / 多様な果物 / 地域ブランド / 地産地消 / 子育て休暇 / いきいきと働き安心して生活ができる / まちの集約 / 土地・農地のメリハリ

いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)

－ 持続可能な社会を創造するための視点 －

医療・福祉のサポート

最期を迎えたい場所

お助け・寺子屋都市飯田

“つながり” から生まれる地域

若者が地域とつながる・活躍する

交流する

安全に暮らせる

暮らしに“あたたかさ”を増やす

“頼れる人” がいる安心

つながる

人と人がつながり、 誰もが参加し、活躍できる、 助け合いの視点

こどもから高齢者まで

高齢者の活力あふれる

暮らしやすいまち

助け合いができる

安心・安全な生活基盤

防災力が高い

医療・福祉サービスが充実 / 安心して老後まで暮らせる / 挨拶、笑顔での関りを忘れない / 頼れる人がある / 安心 / 安心・安全 / 災害への対策 / 災害から守る / 人とのかわりが欲しい / 若者の活躍できる機会の創出 / 高齢者が暮らしやすい / IT・デジタルで助ける

社会福祉の充実 / 医療 / 災害に強い / 安全(防災) / 安心・安全な生活基盤 / 助け合える / いきいきと働き安心して生活ができる / 帰ってきたくなるまち /

いいだ未来デザイン2028後期計画の方向性(イメージ)

● 基本目標を策定する際のポイント

- Point① いいだ未来デザイン2028に掲げる未来ビジョンの達成

Point② いいだ未来デザイン2028の枠組みを捉え、施策の重点化・戦略化を継続

Point③ 4つの基本目標策定の共通視点及び基本的な考え方の落とし込み
- Point④ 中期計画3カ年の振り返りで明らかになった課題への対応

Point⑤ 多くの市民と共有するためのわかりやすさ(子どもにも伝わる表現)

● 基本目標を策定する際の視点の位置づけ

持続可能な社会を創造するための視点	つなぐ		つむぐ		つくる		つながる	
	地域の資源を生かし・守り、次世代につなぐ視点		誰一人取り残さず、共に暮らしていく社会をつむぐ視点		誰もが豊かさも、働きがいも感じられる、発展し続ける地域を創造(つくる)視点		人と人がつながり、誰もが参加し、活躍できる、助け合いの視点	
	・持続可能な自治会・公民館活動 ・若者からお祭りやイベントを盛り上げる ・今ある自然(資源)を生かし・残す ・エネルギー・水・食料の地産地消 ・地形、自然、資源を探し、よく知り、使う		・受動的かつ主体的なこども環境 ・子どもを産み育てたくなる ・飯田らしい教育 ・好きに・自由に表現したい ・選択の幅を狭めない		・経済の循環、お金の回りが生まれる ・やりたい仕事がある、つくる ・安心して暮らし働ける ・新たな発想で変わる、変える ・集約化を意識したインフラ構築		・若者が地域とつながる・活躍する ・高齢者の活力あふれる ・医療・福祉のサポート ・助け合いができる ・安心・安全な生活基盤	
基本目標	つなぐ① 基本目標	つなぐ② 基本目標	つむぐ① 基本目標	つむぐ② 基本目標	つくる① 基本目標	つくる② 基本目標	つながる① 基本目標	つながる② 基本目標
戦略 (考え方)	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮	◆ 戦略① ◆ 戦略② ◆ 戦略③ ◆ 戦略④ ⋮

基本目標の策定イメージ(案)

共通視点・中期計画振り返りを踏まえた基本目標を策定に向けて

いいだ未来デザイン2028後期計画の
基本目標及び戦略のアイデア出しワークシート まとめ

No.	視点	×	分野	戦略のアイデア
1	つなぐ	×	環境	子どもの頃から、地域の自然に触れ、愛着を持って、次世代に繋いでいくことができる地域
2	つなぐ	×	環境	国際メジャーゴルフ対応のゴルフ場 世界から飯田への注目
3	つなぐ	×	環境	地域資源の有効活用
4	つなぐ	×	環境	エネルギーの自給
5	つなぐ	×	地域自治	地区（地域制）ではない自治
6	つなぐ	×	地域自治	飯田下伊那の祭りの日（春の発表）
7	つなぐ	×	地域自治	役員の仕事の負担 無理しない
8	つなぐ	×	地域自治	自治会、公民館、参加しやすい場に改革 新しいまちづくり委員会
9	つなぐ	×	社会資本	上下水道の見直しを早急に
10	つなぐ	×	社会資本	空き家、耕作放棄地の活用
11	つなぐ	×	防災	空き家の利活用
12	つなぐ	×	防災	災害に強いまち
13	つなぐ	×	防災	地域の過去の災害を学びなおす 学校教育、地域教育の中で学習
14	つなぐ	×	こども	地域の産業を知り・育て・食する（食育）
15	つなぐ	×	教育	不登校の増加、コロナ禍での社会のつながり
16	つなぐ	×	教育	高校生、地域との関わり
17	つなぐ	×	教育	「焼き肉」をきっかけにした歴史学習 （歴史研究所の活用）
18	つなぐ	×	産業経済	空き家の利活用
19	つなぐ	×	産業経済	空き家のリノベーション シルバー人材の活用、寺子屋、民泊

No.	視点	×	分野	戦略のアイデア
20	つなぐ	×	産業経済	森林活用
21	つなぐ	×	産業経済	森林資源の産業化（切る→植える） 循環的活用
22	つなぐ	×	環境・防災	竹林の有効活用
23	つなぐ	×	地域自治・産業経済・福祉	世代、地域を超えて繋ぐ軸となるものを作る
24	つなぐ	×	地域自治・こども・教育・産業振興	子どもが地元を知る機会を増やす取り組み →地元に戻りたいと思う人の増加 県外に出たとしても地元を語れる人が増えることで、地元を発信できる可能性が上がる →関係人口の増加、移住・定住
25	つなぐ	×	農・食	農業と宿、酒、遊びをつなぐ
26	つなぐ	×	農・福祉	農地を持つ（市民みな百姓） 市民に農地を提供する 移住する人
27	つむぐ	×	地域自治	お隣との声かけが安心につながる
28	つむぐ	×	地域自治	自主的に参加したくなる自治会へ
29	つむぐ	×	地域自治	外国人を受け入れる地域、受け入れやすい共生、環境に整備
30	つむぐ	×	地域自治	高齢者が生き生きと暮らせる町 最後を安心して迎えることができる町 孤立を減らす
31	つむぐ	×	地域自治	議員も半分を女性に （女性が希望を持つ、女性が増える）
32	つむぐ	×	社会資本	problem 移動の不自由による「自分らしさ」の低減 try 自動運転など
33	つむぐ	×	こども	学区の変更
34	つむぐ	×	教育	problem 進学先や学校以外の学びの場の選択肢を増やす try N高的オンライン高校・大学の現地拠点？
35	つむぐ	×	教育	飯田らしい教育のあり方を定義し、「飯田ではこんな教育が受けられる」「こんな子どもが育つ」というアピール、ブランディングをしていく
36	つむぐ	×	教育	満蒙開拓の歴史が学べる 平和学習ができる地域
37	つむぐ	×	福祉	子どもから高齢者まで、どの世代も安心して暮らすことができる地域 この地域で一生を終えたいと思える地域
38	つむぐ	×	福祉	多様な背景の人が共通の目的のもとに一生に活動できるイベント

No.	視点	×	分野	戦略のアイデア
39	つむぐ	×	福祉	役立つことを軸に、機会を作って、人と人が対等につながるチャンスを増やす
40	つむぐ	×	産業経済	女性が働きやすい、働き続けられる
41	つむぐ	×	地域自治・こども・教育・産業振興	若者が集まれる場づくり (書店・カフェ)
42	つむぐ	×	こども・教育	学区の見直し
43	つむぐ	×	こども・教育	学校の授業にモノづくり分野で企業が参加 学校教育のカリキュラムに企業がコマを持つ 高校生の教育実習で企業へ派遣
44	つむぐ	×	農・食	新しい文化をつむぐ（イタリア的モデル）
45	つむぐ	×	その他	若者の交流の場
46	つくる	×	全分野	人口減に対応できるよう、デジタルを用いて人手からの置き換え・縮小を意図した新たな発想での抜本的な変革を図る
47	つくる	×	環境	水力発電
48	つくる	×	地域自治	結婚相談員を5地区まとめて活動
49	つくる	×	社会資本	人口減少していく地域において、先進的にDXに取り組み、ペーパーレス、キャッシュレスの地域を作り出す
50	つくる	×	防災	国道152号通行止め時の孤立した人の対策
51	つくる	×	こども	子ども一人一人に合った教育
52	つくる	×	教育	若年層が求める多様な学びがこの地域にあり、地域で学び、地域に貢献できる循環可能な地域になる
53	つくる	×	教育	リニア中間駅における自動運転技術展開、エス・バードを活用した水素タウンなど、先進的な技術を教育にも結び付け、魅力的な教育環境を作る
54	つくる	×	教育	教育における選択肢を作る
55	つくる	×	福祉	個性を生かした仕事を提供
56	つくる	×	産業経済	国際会議場 世界から飯田への注目
57	つくる	×	産業経済	多様な働き方 メインの仕事×副業（社会的活動）→移住者の増加
58	つくる	×	産業経済	女性が決定権を持つ働き方を増やす 女性の移住者増加

No.	視点	×	分野	戦略のアイデア
59	つくる	×	産業経済	keep 起業を目指す大人や学生の経済的・つながりのサポート 中長期的な「見守り」「相談できる大人」
60	つくる	×	産業経済	新しい産業の創出
61	つくる	×	産業経済	DX化、デジタル化支援 補助金を出してでも 生産性の改善、中小企業への支援
62	つくる	×	産業経済	果物を活かした仕事づくり (シードル、その他の農作物など)
63	つくる	×	産業経済	仕事、観光、産業で市民が自慢できる推し/目玉を作る (これまでもやってきていると思われるが、これから)
64	つくる	×	環境・福祉	多様な移動手段を増やす
65	つくる	×	こども・教育	自然・文化・芸術を学び、創る(新しい学び舎)
66	つながる	×	環境	まちづくりクリーン隊結成 シルバー人材の活用
67	つながる	×	地域自治	ムトスの精神で市民の誰もが主体的に自治に関わることができることで、誰一人取り残さない地域となる
68	つながる	×	地域自治	気軽に参加できる行事
69	つながる	×	地域自治	30歳以下の選挙の投票率を上げる 投票したら一人5,000円あげる
70	つながる	×	地域自治	親の介護等で飯田に帰ってくる人の利活用
71	つながる	×	社会資本	交通システム
72	つながる	×	防災	地域によっては防災意識に温度差がある
73	つながる	×	こども	幼児を持った親の交流を図る
74	つながる	×	こども	子育てを助け合える意識、環境の整備
75	つながる	×	教育	飯田の歴史、文化を知る茶話会・飲み会
76	つながる	×	福祉	一声かける
77	つながる	×	福祉	医療・福祉サポート、安全・安心な生活基盤 生活を支援できる社会資源を創設していく
78	つながる	×	福祉	親の介護等で飯田に帰ってくる人へのケア

No.	視点	×	分野	戦略のアイデア
79	つながる	×	産業経済	地域になる産業、地域にない産業に触れ、興味を持ったことに取り組みことができる（企業とか）
80	つながる	×	地域自治・こども	中学生・高校生たちが地域とつながる（ボランティア）
81	つながる	×	地域自治・防災・福祉	防災力、避難誘導や助け合いのシステム 避難所、福祉避難所
82	つながる	×	防災・福祉	避難所が開設されて初めて顕在化することがある（ジェンダー、障がい者など） 普段から楽しくシミュレーションできると良い。
83	その他	×	その他	「結田市」への改名